定例記者会見発言録

日　　時：平成30年７日４日（水）14：00～14：30
場　　所：伊達市役所本庁舎２階　委員会室３・４
出　　席：市長、副市長、総務部長、市長直轄理事、財務部長、市民生活部長、教育部長、健康対策担当参事
報道機関：福島民報社、福島民友新聞社

市　　長：別紙資料により説明。
資料１　伊達市空家等対策計画を策定
資料２　健幸ポイント事業の効果と参加者の追加募集
資料３　「桃」のトップセールス
資料４　中学生の広島平和記念式典への派遣
資料５　小中学生の交流・体験プログラム
資料６　夏の主な地域イベント情報

《質疑応答》----------

空家等対策計画関連

記　者：市内に現在854件の空き家があるとのことだが、その内訳をお伺いしたい。
市　長：実態調査では外観判断で３つのランクに分けており、修繕等をしなくても維持・再生できると判断された空き家が272件、修繕・活用することで維持・再生できると判断された空き家が385件、修繕不可能で防災・防犯面で問題があると判断された空き家が40件ございました。また、立入困難で確認できなかった空き家が157件という結果となっています。
記　者：空き家となった要因として多いものを教えてください。
市　長：住んでいた方が亡くなり、そのお子さんが地元を離れて遠方に居住しているために空き家となったというのが、一番多いのではないでしょうか。
記　者：所有者と連絡がとれている件数や不明の件数を教えてください。
市民生活部長：空き家854件中、所有者が判明できたのが765件。通知とアンケート調査票を郵送し、返送されてきたのが414件でした。全く連絡がとれなかったのが89件でした。
記　者：空き家について、民家と店舗の割合はどうなっていますか。
市民生活部長：今回紹介した調査は、戸建て住宅や集合住宅を対象としたものとなります。店舗兼住宅は含まれています。
記　者：今回の計画で数値目標はありますか。
市　長：空き家の解消について数値目標を設定することは難しい面があります。所有者のご協力がないとできないものですので、数値目標を定めておりません。
記　者：資料にも空き家が及ぼす問題や課題が書かれていますが、実際に市民から寄せられている声としては、どのようなものがあるのかお伺いします。
市民生活部長：敷地内の木や雑草が生い茂っていることでの景観阻害や害虫発生、

悪臭など、管理不十分についての苦情が多く寄せられています。
記　者：原発事故の避難によって空き家になった例はありますか。
市民生活部長：そこまでの調査は行っておりません。

道の駅伊達の郷りょうぜん関連

記　者：売り上げが好調と聞くが、経営状況はどうなっていますか。
市　長：売り上げについては、本日具体的な数字を持ち合わせておりませんが、入れ込み客数については、７月１日現在で64万8,868人となっています。１年間の入れ込み客数の目標を54万人としておりましたが、オープン３カ月でクリアしておりますので、今のところ経営状況は良好だと思います。

霊山こどもの村ミュージアム関連

記　者：議会で修正案が入りましたが、今後の進め方についてお伺いします。
市　長：議会の結果については重く受け止めております。現在、今後の対応を検討しているところです。